

もちつき

保護者、地域の方のご協力の元、毎年恒例のもちつきを開催しました。普段なかなか経験できないことなので、こどもたちも大喜びで、一生懸命ついて、丸めて、食べて、つきたてのもちを堪能しました。



真っ白になりながら丸め、4種類の好みの味で楽しみました。



ぺったん、ぺったん。来年は実際についてみようね！



「うたやおどりで世界を回ろう」

今月は、ニュージーランド と セネガルです。玄関に世界地図を貼っており、踊った国にシールを貼っています。お子さんと一緒にみてくださいね♪



ニュージーランド
「キョオラ」(こんにちは)



セネガル
「サライコム」(こんにちは)



おねがい

一家庭につき1つティッシュのご協力をお願いします。検診台に名簿を置いていますので、持ってこられた方は〇をお願いします。

ホームページについて

9月中旬より写真とおたよりの公開ができない状態でしたが、復旧が完了しました。大変長らくご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。また通常通り更新を行いますので、ご覧ください。

2月 行事予定

- 1日(金) 誕生会
- 13日(水) お話会
- 19日(火) 避難訓練
- 21日(木) おでかけ図書館
- 27日(水) 新入園児説明会

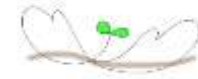
中央図書館の方が来園され、絵本や人形劇を見ます。

3月 行事予定

- 1日(金) 誕生会
- 4日(月) 避難訓練
- 7日(木) 卒園旅行
- 8日(金) 健脚活動⑤
- 13日(水) お話会
- 22日(金) 卒園式
- 28日(木) ~31日(土) 自由登園

今年度最後の健脚活動です。サポーター募集しています。

さくらんぼ通信



さくらんぼ保育園 園だより No.227

平成31年2月1日(金)発行
さくらんぼ保育園 園だより
桜が丘東2-2-809
Tel 995-9071
Fax 995-9072

「感じて分かること」

先日ほし組のこどもたちと♪ぺったんぺったん♪というわらべうたをしました。そのわらべうたの中に自分のお願いごとを言うところがあるのですが、「ウルトラマンになりたい」「いっぱいお菓子を食いたい」など自分の願い事を言って楽しんでいました。するとAさんが「Bちゃんが保育園に来ますように」と言いました。私は「そうだね。でもなんでそのお願いごとにしたの?」と聞くと、「だってね、Bちゃんの風邪が早く治ったらいいし、Bちゃんと早く遊びたいもん」と答えました。Aさんにとって友だちの存在の大きさや、自分のお願いごとの中でBさんを思いやる気持ちがすてきだなと感じました。

初めは2~3人で始めていたのですが、気付けばこどもたちが10人以上集まっていました。1回歌う毎に、1人しかお願いごとを言えないので待つ時間も長くありました。しかし、「ぼくが言う」とか「次はわたし!」と声を大にして焦る子はおらず、「自分の順番はくる」と分かっている、友だちの願い事を聞くことも楽しみながら自然と順番を待っていました。よく、「順番だよ」「〇〇ちゃんの次よ」と大人は言ってしまいがちですが、そんなことを言わなくてもこどもたちは待つことができるのです。これはこどもたちが、「こうすれば自分の順番がくる」と考えたわけではなく、周りの友だちの姿を見て感じたことではないかと思います。

わらべうたを通して見えてきたこどもの心と姿。こどもたちは誰かに教え込まれたわけではなく、あそびの中で自然と身につく力をもっていることを改めて実感しました。大人に言われてすることは簡単ですが、身につくためには実際に感じて気付き、「分かる」ということも必要ではないかと思います。

角田 真理



そら組がアーチを作りはな組が通りました。はな組の子の嬉しそうな顔もですが、そら組のこどもたちが見守る温かい眼差しや表情にほっこりする一枚です。



こどもの根っこ



はな組「きれいになってきもちいいね」

身の回りのことに興味が出て、自分でやろうとする姿が見られています。おしぼりを渡すと保育者の真似をして、口拭きを拭こうとしています。

また、食事の前に手洗いを始めました。保育者が手を添えながら石鹸をだし、手を動かしてペーパータオルで拭いて…。と一連の流れを伝えてきました。今ではランチルームへ続く扉を開けると、真っ先に流しに向かう子も増えていきます。

「きれいになったね」と声をかけ、心地よさを感じられるようにしていきたいと思います。

日笠 真歩

職員紹介コーナー

あどなもみんなこどもだったんだよ



鬼だぞー！



鬼は外！

小学校に入学するまで、祖父母と同居していました。祖父はとても器用で何でも自分で作る人だったので、いつも祖父の傍で、のこぎりや金槌を自由に使って遊んでいました。祖母の畑では、一緒に収穫したり、その場で野菜をかじったりしていました。庭には生活に使っていた井戸があったので、よく井戸の周りでままごとあそびをしていました。木の実や葉っぱを切ったり、すりつぶしたりして日が暮れるまで遊んでいたことを覚えています。自分のやりたいことをやりたいだけ、じっくり遊んでいました。今考えると、井戸の傍でこどもが遊ぶ…危険かな？と思いますが、その頃は、自分なりに井戸が怖いものと分かっていたように思います。祖父母もいつも近くにいる、困った時にはすぐ助けてくれるという安心感もありました。

今のこどもたちが大人になった時、どんな記憶が残っているのでしょうか。いつの時代もゆっくり流れるこどもの時間、大切にしたいと感じます。

大田原 智美



私は、保育園が大好きなこどもでした。いつも母に「早く保育園に行きたい」「迎えは遅く来て」と頼むほどでした。もちろん、毎日の給食やおやつも楽しみにしていました。今でも給食を作っていて、「あ！この給食、昔食べたことある」と思いながら毎日作っています。そして、園のこどもたちにも「保育園大好き」「給食、おやつ大好き」と大人になって言ってもらえるようになれば嬉しいなと思います。

池上 瑠美

ポタンかけや、服の裏返し、いろいろなことができるようになったよ♪



にじ組「つきぐみになるの？」

朝の集まりでのことです。会話の中でふと、「みんなも、もうすぐつき組になるんだもんね～」と保育者が言ったのを聞いて、「え？〇〇ちゃん、つき組になるの？」「え！そうなん!？」と驚くこどもたち。保育者も、「え？ずっと、にじ組だと思ってたの？」と尋ねると、皆が笑顔で「うん」と応えます。その笑顔に、「なんだか嬉しいね」と担任同士で思わず笑ってしまいました。

その後も会話が弾み、ピンク帽子をかぶること、部屋が変わることなどで盛り上がりました。にじ組も終わりに近づき、様々なことを自分でできる部分が増えました。できたことに喜びを感じているこどもたちです。そこに、進級という楽しみが加わり、やる気もますますアップ？

「大きくなりたい」という気持ちは、意欲の源！その気持ちをしっかりと受け止め、育みたいですね。

信砂 知恵

ほし組「自分の思いを言葉で伝える」

友だちと一緒に遊ぶ中で、お互いの思いが交差してトラブルが多くなりました。その様子を見守りながらこども同士で話を進めます。解決しにくいときは保育者が間に入り、自分の気持ちを言葉で相手に伝えることができるようにしています。

相手に自分の気持ちが伝わった喜びが感じられるようにしていきたいです。また、自分の思いだけではなく相手の声にも耳を傾けることも大切にしていきたいです。

高尾 健太

さくらんぼクイズ！

○先月のクイズの答え

Q そら組の保育室の窓に描かれている果物は何でしょう？

A. さくらんぼ でした

【今月のクイズ】

Q 今年一番誕生児が多い月は何月でしょう？



答えは来月の園だよりでお知らせします。

1月のやくそく

「ふわふわことばに
いいかえる」

ふわふわことば
=やさしいことば



相手の気持ちを考えて
言い換えてみよう！